

◆今期間のポイント

<主要じょう乱の概要>

- 20日から22日にかけて、低気圧が沿海州からカムチャツカに進む。
- 20日から23日にかけて、前線が東シナ海から日本の南に停滞する。
- 22日から24日にかけて、高気圧が朝鮮半島から日本の東に移動する。
- 24日は、前線が大陸から西日本付近にのびる。

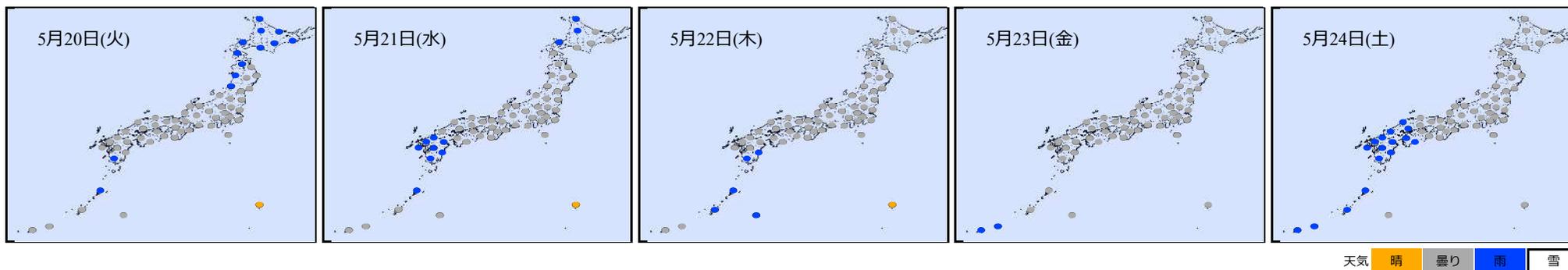
<防災事項> 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- なし。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

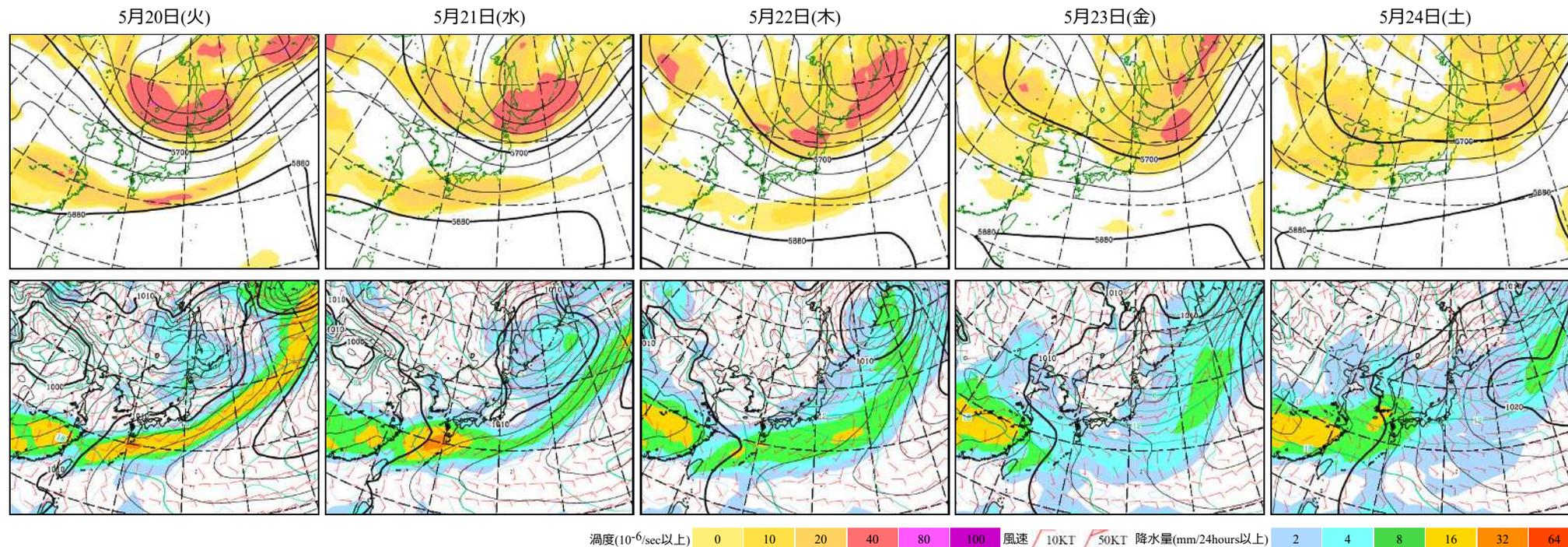
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

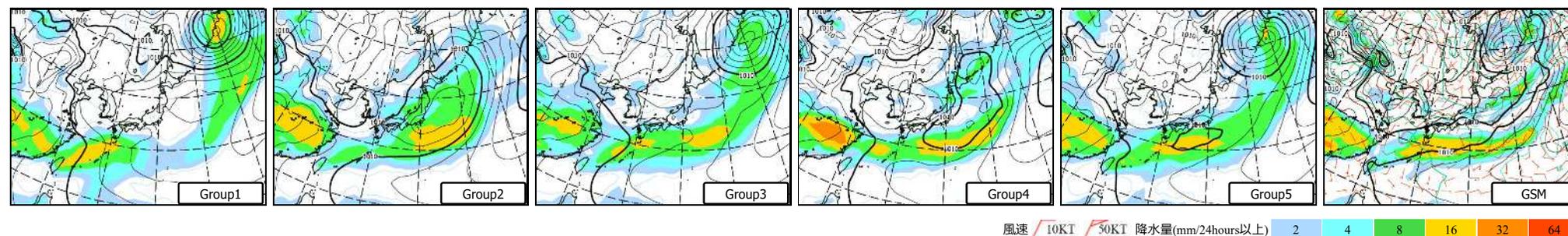


- 北日本では、曇りや雨の降る日が多い。
- 東日本では、曇りの日が多い。
- 西日本と沖縄・奄美では、曇りや雨の降る日が多い。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆5月22日のENSクラスター平均(グループ1~5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料(ENS)は、20日から22日にかけて沿海州から千島付近に進むトラフが早くなり深くなった。20日から22日にかけて日本の南の高気圧が弱まった。22日から23日にかけて朝鮮半島から日本に進む高気圧が強まった。
- 21日から23日にかけて日本付近を通過する低気圧をどのモデルも予想するようになったが、これまで明瞭に予想してきたGSMは若干不明瞭になった。
- 前線の位置は23日以降はモデル間の差が大きい。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。